

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う 10月1日以降の愛知県の対応方針について

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、2023年5月8日(月)から、5類感染症に移行されたことに伴い、愛知県が実施してきた事業について、見直しを行いました(2023年4月21日発表済み)。

この度、10月1日(日)以降の対応について、国から新たな方針等が示されたことに伴い、改めて事業の見直しを行いますので、お知らせいたします。

主な内容は、以下のとおりです。

主な内容

事 項		2023年 5月7日(日)まで	2023年 5月8日(月)～9月30日(土)	2023年 10月1日(日)から
相 談 体 制	相談体制 の確保	愛知県健康フォロー アップセンター (受診・相談窓口、ワク チン関連相談窓口)	継続 ※名称を「新型冠状 ウイルス感染症健康相談セン ター」に変更	継続 (2024年3月末まで)
医 療 提 供 体 制	外 来 外来対応 医療機関	県内 2,272 機関 (4月現在) ※診療・検査医療機関	対応する医療機関を 順次拡大 (幅広い医療機関が対 応する体制へと移行) ※名称を「外来対応医療機関」 に変更 県内 2,482 機関(9月現在)	継続 (当面の間)
	入 院 入院 医療機関	県内 93 機関 最大確保病床数 2,440 床 (4月現在)	対応する医療機関を 順次拡大 (全病院で対応する ことを目指す) <最大確保病床数> 90 病院 1,379 床(7/1～) 93 病院 1,590 床(5/8～)	継続 (2024年3月末まで)

事 項		2023 年 5 月 7 日（日）まで	2023 年 5 月 8 日（月）～9 月 30 日（土）	2023 年 10 月 1 日（日）から
医療費 （外来・入院）	公費負担	自己負担分を 公費で負担 （自己負担なし）	自己負担分の公費に よる負担は終了（一部 自己負担が発生） ※1 新型コロナ治療 薬は自己負担分 の公費負担を継 続（ <u>9月末まで</u> ） ※2 入院については、 高額療養費の自 己負担限度額か ら最大 2 万円を 公費負担（ <u>9月末 まで</u> ）	<u>一部自己負担が発生 （2024 年 3 月末まで）</u> ※1 <u>新型コロナ治療薬 は医療費の自己負 担割合に応じた自 己負担が発生 （3,000 円 ～ 9,000 円）</u> ※2 <u>入院については高 額療養費の自己負 担限度額からの減 額幅を見直し 最大 2 万円⇒ 最大 1 万円</u>
検査体制	施設職員へ の検査 （定期）	高齢者施設等への 定期検査 （県内約 7,600 施設）	継続	継続 （ <u>2024 年 3 月末まで</u> ）
調査・統計	モニタリング （流行状況）	全数把握	定点報告（県内 195 か所） ※前週（月曜日～日曜日） 分を木曜日に発表	継続 （ <u>当面の間</u> ）
ワクチン接種	公費負担	全額公費による負担 （自己負担なし）	継続	継続 （ <u>2024 年 3 月末まで</u> ）

（参 考）

○病床確保料については、

- ・対象を「感染拡大時における重症・中等症Ⅱを中心とした入院患者」、「特別配慮者（妊産婦、小児、がん・透析患者等）」及び「医師の判断で入院が必要と認めた者」に重点化
- ・病棟単位から病室単位に変更し、重点医療機関の区分を廃止
- ・29 千円（一般病床）～174 千円（ICU）／1 日 1 床（休止病床の補助上限数：1～2 床）

※詳細については、別添資料を御覧ください。